

# 地域再生とまちづくり

各都市が目指すものは

<第44回>

大館市は秋田県の北東部に位置する人口約7万5千人の都市で、古くは秋田杉の産地や非鉄金属（黒鉱）の鉱山として栄えてきた。しかし、農林業の衰退や鉱山の閉山と共に人口が減少。現在では中心商業地の衰退化や少子高齢化が深刻な問題とされている。こうした状況を打破するために取り組んでいるのが「秋田犬」を活用した観光誘客である。秋田犬といえば「忠犬ハチ公」が有名だが、大館市はその生誕の地である。秋田

の検案件数は「Akita」が「Mount Fuji」を大きく超えているという。2012年には県からロシアのプーチン大統領へ秋田犬が贈呈されたことでも話題になった。大館市内では「ハチ公像」「ハチ公神社」「ハチ公通り」「ハチ公プラザ」があるほか、下水のマンホールデザインも秋田犬である。また、県外から移住してきた4人の女性と2匹の秋田犬からなる「秋田犬ふれあい隊」が駅でお出迎えしたり、ふれあい活動などに参加したりしている。市内にある「秋田犬会館」では秋田犬に関する様々な展

## マンホールデザインも

海外でも秋田犬ファンは多く、「Akita」といって、県より犬をイメージする外国人も多い。インターネットで

示が行われているが、公益社団法人秋田犬保存会の本部でもあり、支部は国内に限らず、米国、中国、台湾、ロシア、ヨーロッパなどにも広がっているそうだ。大きな反響を得たのが昨年の犬の日（11月1日）に動画投稿サイトYouTubeで公開された「Waiting

## 民間企業とも連携

これらを制作したのは、「地域連携DMO」般社団法人秋田犬ツーリズム」で、昨年4月に設立された。「秋田犬」を前面に打ち出し、自治体が民間企業

## 秋田県大館市・秋田犬を活用した観光誘客

4U（モフモフさせてあげろ）。首から上が秋田犬の3人（匹）組の女性アイドル「MOFU MOFU☆DDO」が、大館市をはじめ北秋田市、小坂町、上小阿仁村の4エリアの魅力を音楽（犬の鳴き声）にのせて紹介。字幕を日中英の3カ国語で表示することで秋田の自慢観光スポット、食、文化を世界に発信している。秋田のもつ「温かさ」こそが新しい日本の魅力につながるとして、「Cool Japan」ならぬ「Warm Japan」を打ち出した。（日本不動産研究所秋田支所、不動産鑑定士・國松了）



大館駅前にある秋田犬の像



大館市内にある秋田犬会館

## 「ハチ公」のふるさと 世界に広がる知名度生かす



⑤大館駅前の忠犬ハチ公像 ⑥秋田犬会館前の望郷のハチ公像

